

学校図書館

No.26



Take Off!

本号の目次

令和2年度 やってみました Web読書会	P.2-3
令和2年度 やってみました「調べ学習」学習会	P.4-5
ドキドキ、楽しんだYA読書会	P.6
コロナ禍の一年を振り返る～会員の声から	P.7
情報コーナー	P.8

「GIGAスクール構想」って何？

GIGAとは、Global and Innovation Gateway for All のことであり、その構想とは「1人1台端末と、大容量の通信ネットワークを一体的に整備することによって誰一人取り残すことなく教育ICT環境を実現する。」ことである。八王子市は国の方針を前倒して2020年度中に1人1台の端末を配ることにしたそうだ。そして「八王子版GIGAスクール構想」を発表した。

一体これによって学校図書館はどのように変わっていくのかを考えてみたい。子どもたちが学校図書館の本と各自の端末を使って更に広く深く探究型の学習を進めようとするならば、一人一人を理解し適切にサポートしてくれる学校司書の存在はますます重要になってくるであろう。更に市内図書館と連携している理想的な端末なので自分で資料を検索して地域の図書館へ借りに行くことが可能になる。今までより一層主体的な学びが生まれてこよう。もちろんその資料の検索方法を学ばねばならない。ここにも学校司書のサポートが必要になるだろう。(大島真理子)

八王子に学校図書館を育てる会広報紙

二〇二一年二月一日発行 第二六号

令和2年は年度当初より新型コロナウイルス感染症対応で様々な活動が制限されました。本会でも子どもゆめ基金の助成が決定し、講演会やブックトークの会などの企画を行いました。また、会場の閉鎖や、人が集まることの困難な状況を考慮し、助成金を辞退し状況を静観することとしました。そこで、集まるとのブックトークが困難ならば、と世間もすなるZOOMで読書会に挑戦しました。

令和2年度 やってみました Web読書会

リアルでの読書会はジャンルを絞ることが多かったのですが、今回のZoomの読書会はジャンル無し、テーマ無しで自由に本を紹介し合いました。

講演会も参加したことがあるのですが、読書会は講演会と違い双方向なので、物理的にも距離を感じることが無いのが利点ではないかと思えます。紹介された本の画像も画面共有や各自の端末からすぐに見られるし、皆さんの熱い紹介も息づかひまで伝わってくる感じがしています。唯一残念なのは苦手意識が強いのか参加者が限定されがちなことです。私も未だ操作にてこずりますが楽しいということ保証します。

(J.S)

令和2年8月から12月で5回開催しました。参加者は「とにかくすすめたい本」(児童書から一般書まで。ただし、一般書の場合はYA世代に楽しんでほしい本)をもって決められた時間にZoomカメラの前にスタンバイします。全員の紹介が終わった後フリートーク、その後その日に紹介された本の中から一番「みんなに紹介したい本」を話し合いで選びました。

紹介された本の中から

『なくなりそうなる世界のことば』

吉岡 乾 著・西 淑 イラスト・創元社

世界で話されていることばはおよそ七千あるそうです。英語や中国語のように広い地域で話されている「大きな」ことばもあれば、少数の人しか使っていない「小さな」ことばもあります。この本には、世界じゅうの小さなことばを集められています。ことばと文化は切り離せません。特に、特定の地域で少数の人々が用いる言葉には、その背景に文化が色濃く残っています。



かわいいイラストと共に紹介される単語の成立ちを
読んでいると、そのことばを話している人々の暮らしが立

(おすすめしたい読者対象)	書名	著者	訳者	書・イラスト	出版社
小学生～大人	なくなりそうな世界のことば	吉岡 乾		西 淑	創元社
小学校中学年から	マララとイクバル：パキスタンのゆうかんな子どもたち	ジャネット・ウィントン	道博 愛子		岩崎書店
小学生から	謎太昆虫記―ぼくのアシナガバチ研究所日記	中川 雄太			くもん出版
小学校高学年から	むこう岸	安田 夏菜			講談社
中学生以上	かがみの孤城	辻村 深月			ポプラ社
中学生以上	世界のはての少年	ジュラルディン・マッコラン	杉田 七重		東京創元社
中学生以上 (コミック)	マイ・フロークン・マリコ	平藤 ワカ			KADOKAWA
高学年以上 (コミック)	ニュクスの角灯 (1) シリーズニュクスの角灯	高浜 寛			リイド社
中学生以上	キジムナーKids	上原 正三			現代書館

ち上がってくるようです。紹介
言語は話者数順に並んでおり、
それは九十万人から始まり最後
には五人そして0人で終わりま
す。なかには私たちになじみの
深いことばも…。ことばが失わ
れたときその文化はどうなつて
いくのか。そんなことに想いを
はせながら、じっくり読みたい
本です。*本書「著者まえが
き」より (M.S)

『「空気」を読んでも従わない』

生き苦しさからラクになる』

鴻上 尚史・岩波書店

なんで先輩に従わないといけ
ないのだろう?どうして周りの
人に合わせないといけないのだ
ろう?正に自分が中学の時に考

えていたことだと手に取る。いや、今もそ
うかもしれない。

私は断ることが苦手なのだ。ずっと自分
が弱いからだと思っていた。が、全然違っ
たのだ。本書の中でも書いてあった。落ち
着いて考えることができ、もつと「自分が
大事にしている思いのせいだ」と自分を知
ることもできた。

自分がスッキリしたところで、「現中学
生はどうなのだろう?」と思い、中三の息
子にも読んでもらった。「そもそも俺、生き
苦しくないよ。この本の言うことはわかる
し、空気を読むこともあるけど、自分を変
えることはない。周りに流されるけど、そ
のために自分を変えることもない。」そう
だ。生き苦しさを感ずるすべての人にお勧
めする。(M.T)



(おすすめしたい読者対象)	書名	著者	訳者	書・イラスト	出版社
小学校 高学年～	「空気」を読んでも従わない (岩波ジュニア新書)	鴻上 尚史			岩波書店
中学生～	キリン解剖記	郡司芽久			ナツメ社
高校生～	暇なんてないわ 大切なことを考えるのに忙しくて	アーシュラ・K・ループ フィン	谷垣 暁美		岩波書店
小学校 高学年	あおいの世界	花里 真希			講談社

できばえは？

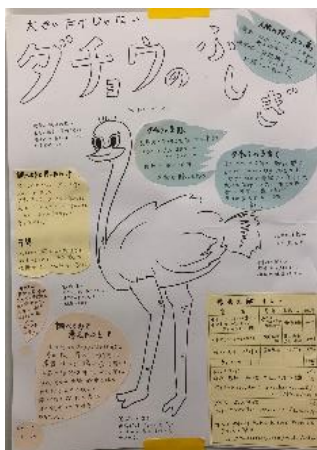
子どもの気持ちになって取り組んだ2作品が後日発表されました。

「身近なイモムシシリーズ1 エビガラスズメ」

家のアサガオに数匹のイモムシが葉をムシヤムシヤ。につつきやつめと、そこで観察・研究調査することになりました。今後「身近にイモムシ」と題してシリーズとしてまとめていきたい。(S. M)



「おおいだけじゃない ダチヨウのふしぎ」
食べ物屋さんでダチヨウ肉のメニューがあった。ダチヨウって、大きくて飛べない鳥ということくらいしか知らないの、もっと知りたいと思った。他の鳥には見られない特徴が多かった。ダチヨウの卵から感染症に効くという抗体が発見されたらしい。もっと調べたい。(M. O)



調べ学習の方法の詳細については八王子市各小中学校に配られている、学校図書館サポーター作成の「しらべてみよう！つたえてみよう！『しらべる学習ガイド』」を参考にするとよくわかります。(宮本 茂)

「YAってなに？」

令和2年1月26日 南大沢市民センター

令和元年度最後の講師は、自由の森学園学校司書の大江輝行さんをお迎えしてお話を聴きました。YAとは、Young Adultの略でそのまま訳すと「若い大人」という言葉になります。

「若い大人」とは、米国で12歳から中学生・高校生・大学生、いわゆる10代を指します。第二次世界大戦後、米国の公立図書館がティーンエイジャーを子どもとして扱うのではなく、大人として遇すべきだという考えから使い出されたといわれているそうです。

現在日本の図書には、YAという分類は確立されていません。児童向けに書かれた「児童書」の他は「一般書」として分けられています。このような状況の為に、今出版社や作家さん達は、「若い大人」が読書をする為の活動が盛んです。この数年、10代が主役である本も多く出版されていますが、YAという分類がない為、私自身も書店で探すのにも一苦労しています。またYAは、年齢ではなく「もう子どもではない」と自



ドキドキ、楽しんだYA読書会

分で認識した若い人に対しても幅広く使われています。それゆえ、児童書・小説・エッセイ・漫画・絵本とジャンルは幅広く、括るには難しい性質があるのはそういう所だろうかと思いました。

その中の紙芝居を一つ紹介します。2019年5月、童心社出版「ちっちゃいこえ」。アーサー・ビナードさんが7年がかりで作られた紙芝居は、丸木位里・丸木俊の大連作「原爆の図」から絵を選んで切り取られ、オリジナルの脚本をアーサーさんが書いています。猫からの視線が、とても小さくではなく盛大に命について訴えてきます。

子どもでも大人でもないこのYA世代は、心の揺れ動きが最も激しい時期。まさに「読書」が一番必要な時期とも言えるでしょう。そんなYAという分類の本がもつと若い大人達の手にしっかりと届くよう、お手伝いできることはないだろうかと思いました。

(M・T)



(童心社『ちっちゃいこえ』)

アーサー・ビナード 脚本／

丸木 俊・丸木 位里 絵／

「原爆の図」より)

～とっても嬉しい年賀状～



日野市の丘陵にある東京都七生福祉園の児童寮でのおはなし会。7人の仲間と月1回通います。絵本や紙芝居、短いストーリーテリング、かんたんな工作、わらべ歌や手遊び、童謡と一緒に歌い、身体を動かして遊びます。2、3歳から小学校低学年の20名ほどの、知的にしようがあり、家庭で養育されず、この寮で生活している子どもたちとの時間です。「次はいつ？」と必ず聞かれて、「来月、またね！」とハイタッチ。

でも昨年は1月の会のあと、コロナの状況下、園へのボランティアの立ち入りが難しくなり、春の緊急事態の解除後も「残念ですが」という職員さんとの電話のやり取りが続き、12月まで子どもたちに出会うことがかなわず…。1980年の6月に始めて40年、こんなことは初めて。子どもた

触れる展示でほっとする時間

ちはどうしているかなあと仲間とメールやラインのやりとりの一年でした。

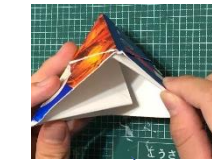
でも元旦の我が家のポストに子どもの手書きの年賀状を発見。園で年越しの子どもたちにも早く会いに行きたい。

(E. T.)

コロナ禍に息子がはまったトポロジーマジック。触れる展示として学校図書館においてもらいました。牛乳パックを裏返すのですが、4個ともボロボロになりました。しばらくヒントなしでチャレンジさせてその後一部種明かししました。

気持ちが悪くわがわがして読書をする気にもならない時、「触れる」(もちろんこんな時ですから手指消毒は必須ですが)ことでほっとする時間が、学校図書館にあっても良いのではないかと思いました。

(M. T.)



裏返った!



令和3年 ZOOM講座

「YA読書会 大江さんと共に」

日時：2月14日(日)

午後2時～4時

自由の森学園司書の大江輝行さんをお迎えする第二弾。今回はWebを活用しZoomでの開催です。お出かけはちよつと…という方も気軽にどうぞ。

お申し込みの方へ詳しいご案内をお知らせします。本会HPからのお申し込みも受けています。

会員募集

正会員・・・本会のすべての活動に参加できます。

入会金5000円、年会費10000円です。

賛助会員・・・広報紙やイベントの情報をお届けします。

本会の活動を支援してくださる個人、団体の方。年会費一口10000円です。

学校図書館の充実を願う要望について

毎年提出してきた要望書。令和2年度は市役所や教育委員会の状況を考えながら、例年通りの提出を見送りました。GIGAスクール構想という新しい学校の姿を見すえ、読書や子どもたちの教育も、新しい発想で考える時だと感じています。

いま、そしてこれから、何が必要でどう変わっていくのか、考えながら引き続き要望をしていきたいと思えます。

編集後記

新型コロナウイルス感染症への対応に右往左往した2020年。問題は「ウイルス」ではなく、見通しのない対策で人々を振り回したリーダーたちにあるのではないか。個人の努力ではどうにもならない事態、だからこそ公助が必要である。どの子にも等しく必要な教育を、学校図書館から。

(お)